

平成 26 年度の主な事業報告

社会福祉法人愛生会

1. 社会福祉事業

- ①特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑
- ②ケアハウスガーデンライフ八千代
- ③愛生苑デイサービスかがやき
- ④グループホームなごみ・小規模多機能居宅介護なごみ

2. 公益事業

- ①在宅介護支援センター愛生苑
- ②八千代市村上地域包括支援センター

平成 26 年度事業報告

特別養護老人ホーム愛生苑
ショートステイ愛生苑

1. 特別養護老人ホーム 愛生苑

(1) 26年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	2名	1名	1名	0名	0名	2名	1名	1名	1名	2名	1名	1名
退所	3名	1名	0名	0名	2名	1名	1名	2名	1名	2名	0名	1名

新規入所 合計 13名 (自宅より4名、他施設より8名、病院より1名)

退 所 合計 14名 (苑内にて6名、病院にて7名、長期入院1名)

(2) 26年度 月別入所者数の推移

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	5名	10名	13名	14名	11名	53名	1,532名
5月	5名	12名	11名	14名	11名	53名	1,607名
6月	5名	11名	11名	16名	11名	54名	1,607名
7月	6名	12名	10名	16名	10名	54名	1,650名
8月	6名	12名	10名	16名	8名	52名	1,603名
9月	6名	12名	10名	17名	8名	53名	1,479名
10月	6名	12名	10名	18名	7名	53名	1,558名
11月	5名	12名	9名	19名	7名	52名	1,517名
12月	6名	12名	9名	19名	6名	52名	1,584名
1月	6名	13名	9名	18名	6名	52名	1,505名
2月	6名	13名	8名	19名	7名	53名	1,421名
3月	6名	13名	8名	20名	6名	53名	1,551名
合計	68名	144名	118名	207名	98名	634名	18,614名

※定員54床にて稼働

(3) 年齢構成 ※平成26年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	0名	9名	22名	19名	3名

男性平均年齢 ～ 85.2歳 男性最高年齢 ～ 93歳

女性平均年齢 ～ 88.4歳 女性最高年齢 ～ 101歳

男女合計平均年齢 ～ 87.8歳

・男性平均介護度 3.7 女性平均介護度 3.1 男女合計平均介護度 3.2

(4) 26年度 年間行事活動報告

	装飾	食行事	行事・外出	月間レクリエーション
4月	桜、鯉のぼり	クッキング、外食 お楽しみおやつ	花見外出	音楽療法、生け花、誕生者出前 DVD観賞、お楽しみ入浴
5月	鯉のぼり	うどん・蕎麦屋台 クッキング	バラ園 ローズフェスタ	菖蒲湯、音楽療法、生け花 お楽しみ入浴、誕生者出前、書道
6月	初夏の装飾	クッキング ラーメン屋台	バラ園 縁日	音楽療法、生け花、書道 お楽しみ入浴、誕生者出前
7月	七夕飾り	うどん・蕎麦屋台	ビアガーデン	音楽療法、生け花、書道 お楽しみ入浴、誕生者出前
8月	夏の飾り	アイスクャンディー屋 ソフトクリーム屋	夏祭り、東葉 サマコンサート	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴
9月		お楽しみおやつ ユアエルム外出	敬老会 動物学校外出	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴
10月	もみじ	ラーメン屋台 うどん・蕎麦屋台 クッキング	縁日	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、リンゴ風呂
11月	〃	マグロ解体ショー うどん・蕎麦屋台 饅頭バイキング	歌舞伎座外出 ガールスカウト慰問	音楽療法、誕生者出前 お楽しみ入浴、書道
12月	クリスマスツリー 電飾	ラーメン屋台	クリスマス会 餅つき	ゆず風呂、音楽療法、生け花 誕生者出前
1月	正月飾り		初詣 正月遊び	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前
2月	雪ダルマ飾り	おやつバイキング お楽しみおやつ	豆まき	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、みかん風呂
3月	雛人形	いちご狩り クッキング	ひな祭り	音楽療法、生け花、書道 誕生者出前、お楽しみ入浴

クラブ活動報告

	園芸クラブ	体操クラブ	工作クラブ	ふれ合いクラブ
活動内容	＝畑づくり＝ トマト、茄子、 胡瓜、落花生 ＝花栽培＝ チューリップ、朝顔	＝リトミック＝ 歌に合わせ体操 玉入れ ボーリング ラケットボール	ちぎり絵 塗り絵 クリスマスツリー作成 絵馬作り シャボン玉	マッサージや、 アロマセラピー によるリラクゼーション

2. ショートステイ愛生苑

(1) 26年度 月別利用者数の推移

	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	実人数	延べ人数
4月	0名	33名	76名	155名	119名	21名	38名	404名
5月	0名	41名	57名	182名	101名	27名	42名	408名
6月	0名	39名	65名	168名	70名	69名	41名	411名
7月	0名	48名	49名	158名	62名	65名	31名	382名
8月	0名	45名	61名	201名	78名	71名	33名	456名
9月	0名	41名	53名	157名	54名	64名	36名	369名
10月	0名	44名	40名	152名	100名	58名	31名	394名
11月	0名	39名	29名	169名	118名	62名	33名	417名
12月	0名	33名	39名	169名	124名	44名	34名	409名
1月	0名	8名	20名	116名	130名	22名	26名	296名
2月	0名	43名	22名	111名	101名	68名	30名	346名
3月	0名	37名	45名	114名	105名	65名	32名	366名
合計	0名	451名	556名	1852名	1163名	636名	407名	4658名
割合	0%	9.7%	11.9%	39.8%	25.0%	13.6%	—	—

(2) 利用状況

- ・26年度新規ご利用者数 23名（全て八千代市在住の方）
- ・地区別利用実績 八千代市、習志野市、千葉市花見川区の3地区

(3) 年齢構成 ※平成26年度3月利用実績より

	～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～
男性	1名	2名	4名	3名	1名	0名
女性	0名	0名	3名	9名	9名	0名

- ・26年度年間の男女平均・最高年齢

男性平均年齢 ～ 76.6歳 男性最高年齢 ～ 99歳

女性平均年齢 ～ 87.5歳 女性最高年齢 ～ 98歳

男女平均年齢 ～ 84.1歳

- ・男性平均介護度～2.5 女性平均介護度～3.2 男女平均介護度～3.0

3. 各課業務、活動報告

(1) 生活相談課

①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・入所相談 ・入所検討 ・事前面接、調整 ・契約書作成、説明 ・書類作成 ・金品管理、返還手続き ・解約手続き ・行政へ報告書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務 ・生活状況確認 ・ご家族への連絡 ・カンファレンス ・近況報告、書類 ・入退院連絡調整 ・苑内外の行事調整 ・介護保険請求業務 ・受診、救急対応 ・各会議への参加 ・送迎業務 ・事業間連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退所状況報告及び書類作成 ・介護保険認定調査調整 ・行政代行手続き ・各種報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学、説明 ・職場体験学習受入(小学校、中学校) ・実習生受け入れ ・地域催し物への参加 ・ボランティア受入

②部門計画の報告

- ・特別養護老人ホーム愛生苑

「満床維持への取り組み」

入所候補選出から入所に至るまで平均1カ月程要している。通常は約3週間といった期間での入所書類作成(医療情報等)で進めていたが、複数の係りつけ医のある方は、検査に1カ月と時間を要する他、検査方法等随時間い合わせもあり、家族の意向と合わせると時間を要するケースがしばしば発生した。係りつけ医以外での入所前検診を受けるケースもあり、家族や医療機関が混乱を招かないように事前説明を考慮して今後は勧めていく。

「ご利用者、ご家族との信頼関係構築」

26年度は家族や施設間での調整力強化を掲げ取り組んできた。結果として毎月のお知らせの他、苦情や事故等が発生し家族と相談する機会が多い年度となる。随時家族と状況報告や相談等のやりとりを行っていたが、これまで伝えられていない事柄について急な状況報告をする事もあり、細かい生活実態を初めて家族が知る事で不安や戸惑いを与える場面もあり、今後は些細な事柄も記録書面を残し家族へ提示すると共に相談しやすい体制を心掛けていく。

「低所得者対策」

年度初めに行政担当者へ社会福祉法人による負担軽減制度の話しや取組内容等の確認を伺い、当苑での制度利用者(該当対象者)がいないと判明する。今後必要性(該当候補者)が出た際は改めて検討していくこととなる。また27年度法改正に合わせ、利用者の負担増となる。利用者の内、4段階の方も半数近くを占めているため今後大幅な負担増となる予想されている。家族からの相談が随時出てくると予測されるため、その時々で個別対応していく。

・ショートステイ愛生苑

「自宅以外でも、安心して生活して頂ける場所を作る」

特養併設型の強み活かし、苑内行事やクラブ活動に参加することができ、余暇活動の楽しみを提供する事ができた。利用者の推移では要介護3や4の利用者傾向が多い。冬季はインフルエンザが流行し、蔓延予防にて一時的に利用中止策を取るも2月以降は回復傾向となる。

(2) 介護サービス課

①部門計画の報告

「人材育成と介護力の底上げ」

OJT、教育担当、指導職と共同で育成進捗管理を行う事で、アドバイスをを行い順調な育成成果へと繋げる事ができた。新人は自身で振り返りや業務内容を見直す事ができ、指導側(OJT)は的確に指導する事を意識して取り組んだ。また接遇面では、家族へ職員から声を掛け近況の様子を報告するなど配慮が出来る職員が育つ傾向となった。家族参加のカンファレンスも増えたことで、介護職員が家族と直接関わり、その情報により介護サービス向上への意識も高まる効果を得たので、今後も継続していきたい。

「特養部門の連携にて、終の棲家を作り上げる」

終末期ケアの話し合いに介護職員が多く参加する事で、本人や家族の意向を直接聞き、話し合うことができた。また指導職が研修に参加し知識を身に付け、課全体で終末期ケアについて考える事ができたが、環境面やケア以外の場面でゆとりある対応が不十分であった。次年度はこの辺りを充実化して修正を図る。

②委員会活動報告

委員会	活動内容
生活委員会	排泄関係（排泄用品管理、排泄状況の集計・アドバイス）、食事用品用具の管理、入浴関係（各種入浴の管理、消毒・塩素・ろ過の管理）
レク委員会	月間予定表の作成、行事企画の立案、装飾品管理、クラブ活動、お楽しみおやつ、クッキング、お楽しみ入浴、ラーメン・うどん・蕎麦屋台、苑内外の余暇活動の企画及び補佐を行い実施
リスク委員会	事故集計と分析・対策検討、会議内での要因対策報告、リスクケア一覧表の作成、事故報告書・ヒヤリハットの書類管理、勉強会開催
環境委員会	感染症対策（物品管理や注意喚起）、寝具管理、害虫駆除対策、カーテン管理 加湿器エアコン管理、掃除用具管理

③施設内勉強会開催内容

4月	新人職員介護技術勉強会、拘縮勉強会
6月	危険予知訓練、感染症（疥癬）勉強会
7月	救急対応
9月	介護事故勉強会
11月	救急対応時の情報提供について
12月	感染症（ノロウイルス）勉強会、薬内服勉強会
2月	身体拘束・権利擁護勉強会
3月	介護保険改正勉強会

④研修参加報告

介護技術 権利擁護 災害等研修	バリデーション研修、転倒転落予防セミナー、感染症対策研修、褥瘡対策研修、口腔ケア研修、身体拘束・権利擁護研修、看取り介護研修、トランスファ研修
指導、 育成研修	新任職員研修、リーダーシップ・コーチング研修、生活相談員研修、医学知識研修、福祉研究大会、介護職員研究会

(3) 医務サービス課

①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（平成26年4月2日～平成27年2月25日実施）
回診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診

定期健康診断	胸部X P、 頭部C T、 心電図、 尿検査、 貧血検査、 肝機能検査、 血中脂質検査、 血糖、 アルブミン値
新規入所者	感染症検査、結核、W氏、H B C、H C V、M R S A その他、上記定期健康診断項目

外来受診者延べ人数

専門外来	人数	入院
内科	33名	15名
外科	9名	0名
脳外科	0名	0名
整形外科	12名	0名
精神科	25名	1名
神経内科	6名	0名
血液内科	0名	0名
眼科	4名	0名
皮膚科	15名	0名
合計	116名	16名

その他

訪問歯科	延べ 227名 受診
インフルエンザ予防注射実施	ご利用者 50名
	職員 54名

②勉強会、委員会等の各種参加報告

勉強会開催	委員会参加	会議参加	研修参加	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員研修 ・感染症と予防策 ・救急法 ・終末期ケア ・バイタルサイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症委員会 ・虐待防止委員会 ・防災委員会 ・広報委員会 ・夏祭り委員会 ・親睦委員会 ・入所判定委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養部門会議 ・ケースカンファレンス ・給食会議 ・入所判定会議 ・医務課内会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症研修会 ・褥瘡セミナー ・医療的ケア教員講習会 ・臨床栄養セミナー ・ターミナルに関する研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査 ・体重測定 ・終末期家族への説明 ・病院受診と連絡相談

③部門計画の報告

「ご利用者、ご家族に安心感を持っていただける医務室を目指す」

医務課看護職員の定着も図れ、課内でミーティングを行う機会が増えた。これにより利用者状態の把握が共有でき、健康管理はもちろん主治医との連携、受診や施設内感染症対応、衛生面と介護課や相談課への情報提供やアドバイスも的確に行えた。また面会時における家族への健康状態の報告及びカンファレンス（終末期も含め）にても施設看護の観点にて相談する機会も増えて、課全体で取り組む事ができた。

(3) 栄養管理課

①一日平均食数状況

	特養							小計	デイサービス	かがやき	小規模多機能	グループホーム	職員	その他	検食	合計
	主食			副食												
	御飯	全粥	ミキサー	常食	刻み	超刻み	ミキサー									
4月	75	83	29	43	39	58	47	187	11	16	/	/	30	2	5	251
5月	77	78	33	43	40	59	46	188	7	16	/	/	31	2	5	249
6月	86	84	31	50	44	63	43	200	2	17	4	5	29	2	5	264
7月	79	75	33	47	45	54	41	187	/	16	8	7	30	1	6	255
8月	81	76	35	46	47	58	41	192	/	17	8	7	30	1	6	261
9月	79	71	29	42	47	55	35	179	/	18	9	9	32	2	6	255
10月	82	76	26	42	51	57	34	184	/	17	8	10	32	1	6	258
11月	82	84	21	40	56	61	30	187	/	18	7	13	31	2	6	264
12月	84	81	22	38	58	60	31	187	/	17	7	14	31	1	6	263
1月	71	80	19	33	53	56	28	170	/	16	8	18	31	1	6	250
2月	81	86	19	36	50	74	26	186	/	18	9	18	33	2	6	272
3月	85	78	20	37	46	72	28	183	/	16	9	18	32	2	6	266
平均	80	79	26	41	48	61	36	186	7	17	8	12	31	2	6	259

②平成 26 年度 給与栄養目標量

別紙 給与エネルギー目標量設定表より、1,200Kcal、1,460Kcal、1,600Kcal の 3 つを設定した。

その他の栄養素の算出

たんぱく質 ⇒ カロリーの 16% それぞれ、48.0g 58.4g 64.0g

脂肪 ⇒ カロリーの 23% それぞれ、30.7g、37.3g、40.9g

E E R 推定エネルギー必要量 E A R 推定平均必要量 R D A 推奨量 A I 目安量 U R 耐容上限量 D G 目標量

70 歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)			総脂質(g)		炭水化物(g)		食物繊維 (g/日)		カルシウム(mg)		鉄(mg)	
	EAR	RDA	DG下限	DG上限	DG下限	DG上限	DG	EAR	RDA	UL	EAR	RDA	UL
男性	50.0	60.0	26.7	50.0	150.0	315.0	19 以上	600	700	2,300	6.0	7.0	50
女性	40.0	50.0	26.7	50.0	150.0	315.0	17 以上	500	600	2,300	5.0	6.0	40

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	550	800	2,700	5.5	1.00	1.20	1.10	1.30	85	100	1.5	9.0g未満
女性	450	650	2,700	5.5	0.80	0.90	0.90	1.00	85	100	1.5	7.5g未満

	推定エネルギー 一必要量 Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	Ca mg	Fe mg	VA μg	VD μgRE	VB1 mg	VB2 mg	VC mg	食塩 g
常食Ⅰ	1,200	48.0	30.7	183.0	12.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g未満
常食Ⅱ	1,460	58.4	37.3	222.7	14.6	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g未満
常食Ⅲ	1,600	64.0	40.9	244.0	16.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g未満

③常食からの展開

食事形態		推定エ ネルギー 一必要 量	たんぱく質	脂肪	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
主食	副食	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μg	mg	mg	mg	g
御飯	常食	1,460	58.4	37.3	222.7	14.6	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
全粥	刻み	1,380	57.0	35.0	210.0	13.8	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
全粥	超刻み	1,300	55.5	33.0	200.0	13.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
御飯	超刻み	1,400	56.0	35.5	215.0	14.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
全粥 1/2	超刻み	1,200	48.0	30.0	185.0	12.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
ミキサー	ミキサー	1,100	51.7	28.0	165.0	11.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満
ミキサー多め	ミキサー	1,200	53.2	34.7	185.0	12.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	10g 未満

④ミキサー食等の詳細

	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	水分 cc	備考	
ミキサー粥	168	2.5	0.3	228	御飯 100g 水 160 cc	
ミキサー多め	202	3.0	0.4	274	御飯 120g	
ミキサー大盛	218	3.3	0.4	296	御飯 130g	
全粥 230g	163	2.5	0.2	191		
全粥 250g	178	2.5	0.2	208		
全粥 1/2	114	1.8	0.2	133	全粥 160g	
ミキサー副食	596	44.2	33.6			
全粥 1/2	ミキサー	938	50	34.2	816	全粥 160g
全粥 230g	ミキサー	1,085	51.7	34.2	990	

⑤給食状況

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール 相当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維 総量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
4月	1,509	57.8	38.2	663	7.1	747	0.79	0.86	90	13.0	9.50
5月	1,497	57.9	37.2	655	7.3	757	0.79	0.87	91	12.9	9.60
6月	1,494	57.8	36.9	659	7.2	808	0.79	0.89	92	12.6	9.40
7月	1,490	56.8	36.9	631	6.9	637	0.79	0.83	90	12.4	9.70
8月	1,496	57.0	36.9	636	7.0	633	0.80	0.82	93	12.5	9.50
9月	1,488	57.5	36.2	643	7.0	688	0.75	0.82	89	12.5	9.50
10月	1,474	57.2	36.5	619	7.0	668	0.75	0.83	90	12.3	9.10
11月	1,496	56.6	37.0	639	7.0	686	0.73	0.82	88	15.5	8.40
12月	1,489	57.2	38.3	640	6.9	692	0.76	0.83	91	12.3	8.50
1月	1,478	57.1	37.2	630	6.8	696	0.74	0.80	92	12.2	10.60
2月	1,479	56.7	37.3	645	6.7	660	0.79	0.80	86	12.0	8.50
3月	1,494	57.6	38.6	624	6.9	696	0.77	0.83	89	12.2	8.50
合計	17,884	687.2	447.2	7,684	83.8	8,368	9.25	10.00	1,081	152.4	110.80
平均	1,490	57.3	37.3	640	7.0	697	0.77	0.83	90	12.7	9.2
目標量	1,460	58.4	37.3	600	6.0	650	0.90	1.00	100	14.6	10.0g 以下

⑥行事状況

平成 26 年 4～9 月

月	日	行 事	内 容
4月	1日	開苑記念日	お弁当 赤飯、天ぶらの盛り合わせ、他
		お楽しみおやつ	ねりきり 枝桜
	7日	旬の食材	桜海老入り玉子とじ、他
	19日	ご当地丼	長野駒ヶ根 ソースかつ丼、他
5月	27日	旬の食材	山菜御飯、他
	5日	子供の日	穴子ちらし、茶碗蒸し、他
	17日	旬の食材	グリーンピース御飯、他
6月	19日	リクエスト食	焼肉丼、他
	7日	ご当地麺	長崎ちゃんぽん、他
	16日	ハレの日メニュー	五目ちらし、他（なごみオープン記念日）
7月	30日	お楽しみおやつ	ソフトクリーム屋さん
		七夕	七夕ちらし、他
	26日	旬の食材	枝豆御飯、他
		お楽しみおやつ	風呂の日まんじゅう
8月	29日	土用の丑の日	うな重、他
	3日	夏祭り	屋台のお弁当、他
	4日	四季の食	肉味噌そうめん、他
	15、18日	お楽しみおやつ	ソフトクリーム屋さん
		四季の食	精進揚げ、他
	23日	リクエスト食	焼肉丼、他
9月	31日	四季の食	冷やしラーメン、他
	15日	敬老の日	赤飯、祝い膳、他
	26日	話題のお店	東京淡麗塩ラーメン、他
	29日	四季の食	きのご御飯、他

平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月

月	日	行 事	内 容
10 月	25 日	四季の食	鯖のゆず味噌煮、他
	28 日	ご当地カレー	大阪名物あまからカレー
	後半	お楽しみおやつ	まんじゅうバイキング
11 月	8 日	四季の食	吹き寄せ御飯、他
	23 日	マグロ解体ショー	鉄火丼、他
	26 日	リクエスト食 お楽しみおやつ	東京淡麗塩ラーメン、他 風呂の日 いわき塩まんじゅう
12 月	22 日	冬至	おやつ 南瓜蒸しパン
	25 日	クリスマス	ビーフストロガノフ、ケーキ、他
	28 日	もちつき	おやつ おしるこ
	31 日	年越しそば	かき揚げそば、他
1 月	1 日	お正月	赤飯、おせち料理、雑煮風汁、他
	2、3 日	お正月	ねぎとろ丼、天ぷら、他
	7 日	七草	七草粥
	11 日	鏡開き	おやつ おしるこ
	25 日	ご当地丼	長野駒ヶ根 ソースかつ丼、他
2 月	27 日	ご当地丼	宮城 油麩丼、他
	3 日	節分	五目ちらし、つみれ汁、他
	14 日	バレンタインデー	おやつ ハートクッキー2種
	18 日	ご当地麺	長崎ちゃんぽん、他
	22 日	リクエスト食	うな重、他
3 月	3 日	ひな祭り	親子ちらし、桜もち、他
	8 日	旬の食材	鯖の味噌マヨネーズ焼き、他
	18 日	ご当地麺	九州とんこつラーメン、他
	24 日	リクエスト食	とろろそば、他
	26 日	旬の食材 お楽しみおやつ	竹の子御飯、他 風呂の日まんじゅう

平成 26 年度事業報告

ケアハウスガーデンライフ八千代

1. 事業所の職種及び職員数

職種	人数	常勤／非常勤
施設長	1名	常勤1名(兼務)
生活相談員	1名	常勤1名
寮母(介護職員)	3名	常勤2名／非常勤1名

2. 入居者介護認定状況

定員 15 名 入居者数 15 名 (男性 7 名・女性 8 名)

介護認定	男性	女性	合計
未申請(自立)	3名	3名	6名
要支援1	2名	0名	2名
要支援2	0名	1名	1名
要介護1	0名	3名	3名
要介護2	1名	0名	1名
要介護3	1名	1名	2名
要介護4	0名	0名	0名
要介護5	0名	0名	0名
合計	7名	8名	15名

3. サービス内容

①月別送迎支援状況 (延人数)

4月の利用者数	7名	2月の利用者数	18名
5月の利用者数	16名	3月の利用者数	22名
6月の利用者数	19名	合計人数	207名
7月の利用者数	19名		
8月の利用者数	12名		
9月の利用者数	23名		
10月の利用者数	19名		
11月の利用者数	19名		
12月の利用者数	21名		
1月の利用者数	12名		

②服薬管理

自立	4名
一部介助	4名
職員管理	7名

③受診付添介助

自立	6名
付添い介助	9名

④行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加人数
4月	【外食】・すし藤乃	7名
	【外出】・お花見（新川沿い）	6名
5月	【外食】・ロスアンジェルス ・かに甲羅	9名
	【外出】・成田山新勝寺	5名
6月	【外食】・とんでん ・焼肉むさし	9名
	【外出】・京成バラ園	3名
7月	【外食】・大とね ・かつ波奈	7名
	【外出】・川村美術館	3名
8月	【外食】・焼肉むさし	9名
	【外出】・サマーコンサート	6名
	・夏祭り	全員参加
9月	【外食】・味の民芸 ・バーミヤン	10名
	・敬老会	全員参加
10月	【外食】・野菜のレストラン ・鮭文	8名
	・秋の運動会	全員参加
11月	【外食】・ばんどう太郎の店	6名
12月	【外食】・かに甲羅	6名
	・餅つき ・クリスマス会	全員参加
1月	【外出】・初詣	9名
	・新年会	全員参加

2月	【外食】・とんでん ・豆まき	8名 全員参加
3月	【外食】・味の民芸 【外出】・花の美術館 ・お花見弁当	5名 4名 全員参加

⑤クラブ活動参加状況

内 容	担 当	実施回数	平均参加者数
コーラス	ボランティア1名	月2回	4名
詩 吟	ボランティア1名	月1回	1.8名
リズム体操	職員 2名	毎週1回	6名
音 読	職員 1名	毎週1回	5名

⑥その他の活動参加状況

内 容	実 施 回 数	平 均 参 加 人 数
買物ツアー	月 4回	各 3名
外食ツアー	月 2回	各 7名
フラワーアレンジ	月 1回	8名
入居者懇談会	月 1回	14名
レク(お茶会等)	週 2回	各 5名

4. 苦情受付報告

(内容)

- ・西側の部屋だから寒いし日が当たらない場所は気温が上がらないのに、エアコンの効きが悪いから電気屋に修理を依頼して欲しいとハード面の整備の訴えがあり

(対応)

- ・エアコン導入から10年以上経過しているため、これを機に入替を実施した。
今後は訴えがある前にこちらで対応できるよう気を付けていく。

5. 地域交流・慰問

団 体 名	日付	参加人数	内 容
ボランティア団体	8月	6名	サマーコンサート

6. 入所者の状況

①出身別入所者状況

出身地	男	女	計
八千代市	6名	3名	9名
横浜市	0名	1名	1名
茂原市	0名	2名	2名
千葉市	0名	0名	0名
成田市	0名	1名	1名
渋谷区	0名	1名	1名
江東区	1名	0名	1名
計	7名	8名	15名

②入居前状況

家族と同居	4名
1人住まい(夫婦のみ)	11名

③月別入退所状況

平成 26年度	入所	退所	退所の理由				月初日 人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
4月							13名
5月	1名						14名
6月							14名
7月		1名			1名		13名
8月	2名						15名
9月							15名
10月							15名
11月							15名
12月		2名		1名	1名		13名
1月							13名
2月	2名						15名
3月							15名
計	5名	3名	0名	1名	2名	0名	

④年齢構成状況

年齢区分	男	女	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	1名	0名	1名
70～74	0名	0名	0名
75～79	1名	0名	1名
80～84	2名	5名	7名
85～89	3名	1名	4名
90歳以上	0名	2名	2名
合計	7名	8名	15名

最高年齢 男性 89歳 女性 93歳

最低年齢 男性 66歳 女性 80歳

平均年齢 男性 81.0歳 女性 85.1歳 全体平均 83.2歳

⑤ADL等状況

(1) 介護認定

自立(未認定)	6名
要支援1	2名
要支援2	1名
要介護1	3名
要介護2	1名
要介護3	2名
要介護4	0名
要介護5	0名

(2) 在宅サービス利用者

訪問介護(家事)	6名
デイサービス	6名
訪問歯科	0名

(3) 移動(一部重複)

自立	7名
杖使用	7名
シルバーカー	3名

(4) 入浴

自立	11名
一部介助(デイサービス・訪問介護)	4名

(5) 着脱衣

自立	15名
----	-----

(6) 食事

ご飯と常食にて自立	12名
ご飯ときざみにて自立	3名

(7) 洗面

自立	15名
----	-----

(8) 金銭管理

自立	9名
一部介助(銀行関係、)	2名
家族管理(銀行関係、小遣い管理)	4名

(9) 居室清掃

自立	10名
介助(ヘルパー利用)	5名

(10) 洗濯

自立	13名
介助(ヘルパー利用)	2名

(11) 買い物

自立	9名
一部介助(家族、職員付き添い)	6名
不可	0名

(12) 通院 (一部重複)

自立	7名
送迎介助(職員)	8名
送迎・付き添い介助(職員)	5名

(13) 服薬管理

自立	8名
一部介助(分包や仕分け)	7名

⑥入所者疾病状況 1

病名	男性		女性		合計	
	既往	治療中	既往	治療中	既往	治療中
脳梗塞	1	1	2	1	3	2
高血圧	5	5	5	5	10	10
心房細動	2	2			2	2
狭心症	1	1	2	2	3	3
心不全	1	1			1	1
バセドウ病			1	1	1	1
パーキンソン症			1	1	1	1
糖尿病	2	2	1		3	2
高脂血漿	2	2	2	2	4	4
くも膜下出血			1		1	
子宮筋腫手術			1		1	
卵巣嚢腫			1		1	
腎機能障害			1	1	1	1
メニエル病・めまい症			2	2	2	2
骨粗鬆症			1	1	1	1
胆石			2		2	
膀胱炎			1	1	1	1
過活動膀胱	1	1	2	2	3	3
不眠症	2	2	1	1	3	3
白内障	1		3	2	4	2
閉塞性動脈硬化症			1	1	1	1
抹消循環不全	1	1	1	1	2	2

⑦入所者疾病状況 2

病名	男性		女性		合計	
	既往	治療中	既往	治療中	既往	治療中
認知症	2	2	3	3	5	5
肺癌	1	1			1	1
乳癌			1		1	
大腸癌			1		1	
肋膜炎			1		1	
腹膜炎			1		1	
変形性膝関節症			1	1	1	1
人口関節置き換え術			1	1	1	1
骨折(大腿骨・手首)	2				2	
椎間板ヘルニア			2	1	2	1
変形性脊髄症	1	1	2	2	3	3
腰痛	4	4	5	5	9	9
大腿脂肪性腫瘍(手術)			1	1	1	1
腸閉塞	1		1		2	
パニック障害			1	1	1	1
自律神経失調症			1	1	1	1
難聴	3	3	1	1	4	4
鼻炎			1	1	1	1
帯状疱疹			1		1	
貧血	1	1	1	1	2	2
肝炎	1	1			1	1
前立腺肥大症	2	1			2	1
狭窄症	1	1			1	1

平成 26 年度事業報告

愛生苑デイサービスかがやき

1. 平成 26 年度活動・外出報告

4 月	手芸	工作	習字	書き方	壁面	絵手紙
	折り紙	民謡	手話	音楽	コーラス	
外出行事	お花見外出					
5 月	手芸	工作	民謡	書き方	壁面	絵手紙
	習字	ゲーム	音楽	尺八	折り紙	
行事企画	お茶会					
外出行事	ピクニック外出					
6 月	手芸	工作	習字	書き方	壁面	絵手紙
	ゲーム	民謡	音楽	手話	腹話術	折り紙
行事企画	お茶会					
外出行事	あじさい外出					
7 月	手芸	工作	民謡	書き方	壁面	絵手紙
	習字	ゲーム	音楽	尺八	折り紙	
行事企画	オカリナ					
外出企画	買い物外出					
8 月	手芸	工作	習字	書き方	壁面	絵手紙
	ゲーム	民謡	音楽	手話	お茶会	折り紙
外出企画	梨狩り外出					
9 月	ゲーム	手芸	絵手紙	書き方	習字	工作
	壁面	音楽	尺八	折り紙		
行事企画	フラダンス					
外出企画	梨狩り外出					
10 月	手芸	工作	ゲーム	書き方	壁面	絵手紙
	習字	民謡	音楽	手話	折り紙	
行事企画	かがやき感謝祭					
外出企画	バラ園外出					
11 月	手芸	工作	民謡	書き方	壁面	絵手紙
	習字	ゲーム	音楽	尺八	折り紙	
外出企画	菊見学	買い物外出				
12 月	手芸	工作	民謡	書き方	壁面	絵手紙
	習字	ゲーム	音楽	手話	尺八	折り紙
行事企画	クリスマス会		餅つき			

1月	手芸	工作	ゲーム	折り紙	壁面	絵手紙
	習字	民謡	音楽	尺八	音楽体操	脳トレ
行事企画	お茶会	カラオケ				
外出企画	初詣					
2月	手芸	工作	習字	書き方	壁面	絵手紙
	民謡	折り紙	音楽	手話	脳トレ体操	
行事企画	豆まき	昼食外食	カラオケ			
外出企画	昼食外食	買い物外出				
3月	手芸	工作	習字	書き方	壁面	絵手紙
	手話	ゲーム	民謡	音楽	尺八	腹話術
行事企画	お茶会	カラオケ				
外出企画	昼食外食	買い物外出				

2. 年間会議

4月	かがやき会議・レク会議	10月	かがやき会議
5月	かがやき会議	11月	かがやき会議
6月	かがやき会議・レク会議	12月	かがやき会議・レク会議
7月	かがやき会議	1月	かがやき会議
8月	かがやき会議	2月	かがやき会議・介護保険勉強会
9月	かがやき会議・レク勉強会	3月	かがやき会議・レク会議

3. 委員会活動・勉強会

11月	感染症委員会	ノロウイルスやインフルエンザについての対応方法などを再度確認を行った。
9月	レク勉強会	上肢・下肢のリハビリ体操。道具を使わないで、体操が出来る運動を行う。
2月	介護保険勉強会	27年度介護保険改正の為、サービス見直しや報酬についての勉強会を行った。

4. 消防訓練

6月	平成26年6月20日(金)14時～14時30分(職員10名・ご利用者18名合計28名で行った。避難訓練(調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。）・通報訓練(119番通報)・消火訓練(水消火器を使い初期消火訓練を行った。)
12月	平成26年12月1日(月)14時～14時30分(職員5名・ご利用者15名合計20名で行った。避難訓練(調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。）・通報訓練(119番通報)・消火訓練(水消火器を使い初期消火訓練を行った。)

5. 実人数・延人数実績

月	実人数	延べ人数
4月	68名	540人
5月	65名	504人
6月	71名	542人
7月	72名	577人
8月	67名	542人
9月	68名	536人
10月	68名	546人
11月	68名	521人
12月	68名	528人
1月	71名	511人
2月	69名	506人
3月	70名	535人
合計		6,388人

平成 26 年度事業報告

グループホームなごみ

小規模多機能居宅介護なごみ

1. なごみ開設時の概要

開設日・・・平成26年6月16日

提供サービス・・・①小規模多機能型居宅介護

②認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

利用定員・・・（小規模多機能居宅介護なごみ）

登録⇒25名

通い⇒15名 宿泊⇒5名

（グループホームなごみ）

1ユニット⇒9名 × 2ユニット = 18名

営業範囲・・・八千代市内

2. 利用者構成

小規模多機能・3月末時点

要介護度	男性	女性	合計
要支援1	1名	0名	1名
〃 2	1名	0名	1名
要介護1	3名	2名	5名
〃 2	2名	1名	3名
〃 3	1名	3名	4名
〃 4	1名	2名	3名
〃 5	0名	2名	2名
合計	9名	10名	19名

グループホーム・3月末時点

要介護度	男性	女性	合計
要介護1	2名	3名	5名
〃 2	2名	4名	6名
〃 3	1名	4名	5名
〃 4	1名	1名	2名
〃 5	0名	0名	0名
合計	6名	12名	18名

3. 利用実績

(小規模多機能)

	登録人数 (実人数)	通い (延べ人数)	宿泊 (延べ人数)	訪問 (延べ人数)	夕食後帰宅 (延べ人数)
平成26年6月	15名	118名	14名	8名	6名
7月	15名	217名	32名	22名	14名
8月	16名	233名	41名	33名	15名
9月	17名	254名	42名	33名	19名
10月	17名	251名	55名	26名	21名
11月	15名	224名	40名	32名	18名
12月	16名	227名	42名	55名	13名
平成27年1月	18名	226名	47名	34名	10名
2月	19名	245名	40名	46名	11名
3月	19名	270名	44名	41名	21名

★小規模多機能利用者地区別（27年3月末時点）

高津地区	3名
緑が丘地区	5名
八千代台地区	5名
大和田新田地区	2名
島田台地区	4名

(グループホーム)

月	入所者数	退所者数	月末入所者数	延べ利用者数
平成26年6月	7名	0名	7名	89名
7月	1名	1名	7名	214名
8月	0名	0名	7名	202名
9月	3名	0名	10名	250名
10月	0名	0名	10名	310名
11月	3名	0名	13名	356名
12月	3名	0名	16名	440名
平成27年1月	2名	0名	18名	497名
2月	0名	0名	18名	504名
3月	0名	0名	18名	558名

4. 活動内容

★地域交流行事

- ・そば打ち教室（10月24日、11月28日実施）
講師指導の下そば打ちを行い、利用者とともに打ち立てそばの昼食を摂る。
地域住民 合計9名参加
- ・いきいき教室（歩行教室、27年3月13日、27日実施）
地域包括支援センター主催。専門講師により歩行・姿勢保持の訓練。
地域住民 合計15名参加
- ・餅つき大会（26年12月30日実施）
餅つきとつき立て餅の試食
地域住民3名参加

★施設内行事

- ・夕涼み会（夕食のバーベキュー）
- ・敬老会
- ・クリスマス会

★ボランティアによる活動

- ・音楽療法
- ・習字
- ・絵手紙
- ・民謡、舞踊鑑賞
- ・押し花アート

★小規模多機能活動

- ・おやつクッキング（アメリカンドッグ、パン、いちごケーキ）
- ・各種工作（色紙工作、飛行機、壁面飾りづくり）
- ・昔遊び（かるた取り、コマまわし、お手玉）
- ・ドライブ外出（道の駅、花見）

★グループホーム活動

- ・散歩外出、買い物外出（イオン、ベルク）
- ・いちご狩り
- ・クッキング（カレーライス、餃子）

5. 運営推進会議実施記録

第一回	5月2日	準備状況の報告、営業依頼、年間の活動予定
第二回	7月17日	現在の利用状況、施設見学
第三回	9月4日	利用状況報告、困難ケース事例報告、行事予定、 そば打ち教室の案内
第四回	11月14日	利用状況、行事内容の報告、ボランティア活動の新規相談
第五回	1月15日	利用状況、事故内容報告
第六回	3月13日	利用状況報告、利用回数の少ない方に関する報告・承認 いきいき教室への参加・見学

★運営推進会議構成員

利用者代表、利用者家族、所在地区自治会長、近隣地区自治会長、所在地区民生委員、近隣地区民生委員、担当地域包括支援センター職員、事業所開設者、事業所管理者 計9名

6. 苦情受付状況

受付日	申出人	部署	内容
平成26年 6月22日	利用者家族	小規模多機能	担当ケアマネジャーの言動が高圧的であり、要望もあまり聞いてくれない。
解決結果⇒担当ケアマネジャーへの個別面談を通し、傾聴の意識づけ・自己判断せずに相談体制を持つことを指導。			
平成26年 9月17日	利用者家族	小規模多機能	入浴時、シャワーの湯温が冷たく、めまいがした。
解決結果⇒浴室に注意喚起の掲示。足先などで湯温確認しながら全身にかける。 心情面から訴えてこられた可能性もあり。常に気分よく入浴して頂ける環境づくりを心掛ける。			
平成27年 3月20日	利用者本人	小規模多機能	静養室より起床介助の依頼をしたかったが、コールボタンが手元になく、呼ぶ事ができなかった。
解決結果⇒臥床介助時の確認、静養室への巡回強化。			
平成27 4月1日	利用者家族	グループホーム	転倒事故により顔に大きな内出血が出来た。また、その連絡が遅かった。
解決結果⇒事故予防のため、リスク一覧を作成し意識づけ。 連絡遅れに関しては、担当職員決めなどの連絡体制の確立で防止する。			

7. 非常災害訓練等実施状況

実施年月日	訓練の概要	参加者数
平成 26 年 6 月 12 日	避難ルートと流れの説明 防災機器使用方法の説明	従業員 12 名
平成 27 年 3 月 11 日	火災確認⇒各フロアへの伝達、避難誘導 消火器の使用訓練	従業員 13 名 利用者 3 名

8. 部門方針に対する取組内容

(部門方針)

- ①施設のルール・体制を確立し、スムーズな運営の基礎を作る。
- ②地域密着型サービスとして、新たな視点を身に付ける。

(取組内容)

①ルール・体制づくりの面では、マニュアルやルール作りなど開設前からの準備は一定の成果が見られているが、開設後に追加しての作成が出来ていない。委員会活動や勉強会は実施できていない。人員定着が図れていない中、人数面からの人員安定を最優先として取り組まなくてはならない状況のため、体制づくりが疎かになってしまった。

②地域交流行事としては、そば打ち教室や歩行教室などの開催を通し、充分ではないが行うことができた。参加の呼びかけ強化や近隣保育園などとの交流、合わせて、地域行事への参加を通して、サービス利用者も地域との関わりが持てるような支援を検討していかなくてはならない。

小規模多機能ではサービスが従前の「デイサービス」とは異なる意識の浸透に時間がかかったが、訪問や宿泊の意義・必要性を理解することは出来ている。

平成 26 年度事業報告

在宅介護支援センター愛生苑

1. 部門方針1 「 地域への貢献、信頼度を高めるためのマンパワーの開発 」

【取り組みに対する評価と考察】

①専門的技術の向上

- ・ 定期的に週1回の小会議、月1回の定例会議を利用して、個々に担当するケースの情報共有を行った。困難ケースや新規ケースを主に扱いながら、ケースの透明化に着手することができたが、個々の担当者が問題と感じていない部分での情報共有は、まだ不十分である。課内での情報交換と報告連絡相談があたりまえにできる環境づくりが、更なる課題となった。
- ・ 個別に年間研修計画を立て、計画に沿った研修参加を実行した。地域包括が主催する事例検討会、地域のケアマネネットワーク主催の研修等が主であったが、後半では、27年4月の法改正についての研修・勉強会の機会が確保でき、情報の課内共有を行った。研修予定が直前に決定する為、日程調整が難しい面があるが、継続的に必要な研修参加を積極的に確保し、技術研鑽できるように努めていく。
- ・ 効率的に必要なアセスメントができ、誰が見てもわかる情報を記録するために、基本情報等のフォーマットの見直しを行った。必要に応じて、随時更新を行い各担当者が書式を活用できるように、共有データ化を進めている。業務マニュアルの見直しは進んでおらず、次年度の目標となった。

②後進の育成

前期は、小規模多機能居宅介護「なごみ」開設に伴う人事異動に対応するため、職員増員と人材育成が大きな課題であった。新人ケアマネジャー1名を4月から増員。前任者からマンツーマンの引継指導、その後は個別指導を継続した。後期からは新規獲得を増やして行ったが、様々なケースに直面しながら徐々にやりがいを見出し、コミュニケーション能力を向上させるなどの成果がみられた。新人育成として一過程を終了し、新たなマンパワーを確保できたと評価する。今後は段階的にケアマネジメントの質を上げるべく、主任介護専門員を中心として現任教育を行う。また、中長期的な人材確保のために新人教育マニュアルの作成を行う等、後進の育成に力を入れていきたい。

部門方針 2:「愛生グループ内での接着剤としての役割を果たし、情報発信基地となる」

【取り組みに対する評価と考察】

課の組織力強化、法人としての組織力強化という 2方向で取り組んだ。課内の組織力強化について、報告連絡相談の意識付けを行い連絡ノートの活用や伝達方法のルールづくり、指示系統を明確にするよう努めた。成果としては第一歩を踏み出したに過ぎないが、昨年ま

でと比較すると方向性が整ったと評価したい。人材育成にも繋がる部分であるが、個々の個性や強みを生かせる組織づくりを進めたい。

法人内に対しては、地域の情報を迅速に提供するなど情報発信を行い、困難ケースや緊急性が高いケースについては随時、相談を行うことで、協力連携がスムーズに行えた。しかし、一方では専門職としての調整不足により、リスクマネジメントが十分にできなかったという課題も残った。

次年度は他部門との連携をより具体的にして、相互の問題点を抽出しできるように働きかけるとともに、個々のケースを支援センターとして総合的にバックアップできる体制を整え、地域の信頼を深めるように努力できる組織を目指していく。

2. 月別利用状況報告

①月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
既登録	137	139	143	137	132	130	132	133	131	133	132	135	
新規契約	7	6	1	7	6	6	3	3	5	4	6	7	60
契約終了	5	2	7	12	8	4	2	5	3	5	3	4	60
月末登録	139	143	137	132	130	136	138	131	133	132	135	138	
実績数	135	140	133	127	123	126	124	123	125	126	126	127	1535

人事異動の影響で、法定件数の上限が4月141件、6月134件、7月以降は129件に減少。勤務体制の変更により1月以降133件に増加した。

*新規契約相談経由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更	1	3	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	9
地域包括	5	0	1	4	2	3	1	1	3	2	4	5	31
病院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
家族直接	0	0	0	3	1	3	0	1	0	0	0	0	8
その他	1	3	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	9
合計	7	6	1	7	6	6	2	3	5	4	6	7	60

その他の内訳は、サービス事業所経由3件、利用者紹介1件、生活支援課件1件、法人内紹介4件

* 契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	5
死亡	1	2	3	1	1	2	1	3	1	1	0	2	18
入院入所	3	0	3	1	4	2	1	2	1	3	1	1	22
その他	1	0	0	9	1	0	0	0	1	1	1	1	15
合計	5	2	7	12	8	4	2	5	3	5	3	4	60

その他の内訳 転居4件、小規模多機能居宅介護移行10件、他居宅支援事業所に変更1件

* 昨年度の新規契約数 38 件、終了 41 件に対して、本年度は共に 60 件で推移した。

ターミナル期の受入れにより短期間で終了するケースが多い。

* 要介護状態区分別内訳(実績数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	47	49	47	48	46	49	49	49	53	54	52	53	596
要介護2	34	32	31	27	27	26	26	24	23	26	26	28	330
要介護3	20	23	18	17	17	17	16	17	16	16	17	18	212
要介護4	22	23	22	22	20	21	20	20	20	17	16	17	240
要介護5	12	13	15	13	13	13	13	13	13	13	15	11	157
合計	135	140	133	127	123	126	124	123	125	126	126	127	1535

* 6月、7月で小規模多機能居宅介護に移行した利用者 10 名

(内訳 要介護1: 1名、要介護2: 4名、要介護3: 4名、要介護5: 1名)

* 地域包括からの依頼では、要支援から要介護になったケースが多いため、全体の割合からみると要介護 1 の利用者数が多い結果となっている。

* 認知症と独居の件数(加算要件に該当するもの:Ⅲ以上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総件数比
認知症	34	35	33	27	26	26	25	26	26	23	21	20	322	20.9%
独居	16	17	19	19	16	17	19	21	20	20	20	21	225	14.6%
独居で 認知症	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	25	1.6%

* 認知症(Ⅲ以上)の加算要件に当てはまらないため数字には現れていないが、何らかの認知症や精神症状が出現しているために特別な対応を行っているケースが増えている。

②認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市	0	0	0	0	3	3	0	3	4	2	0	1	16
習志野市	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
船橋市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	0	2	1	0	3	3	0	3	5	2	1	3	23

その他内訳 横浜市1件、久慈広域連合 2件

③ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

ご家族、訪問医との連携・コミュニケーション不足から、サービス事業所間での情報共有ができず、在宅での看取り希望に添えない結果となった。ご家族の意向を代弁しての訪問医からの苦情である。

今後、増加が予想される終末期の対応について、慎重にご家族の意向を確認し、介護・医療の関わるチーム間で情報が統一されて協働できるように、連携強化を行っていく。

④介護予防支援地域包括別委託状況(実績のみ)

地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大和田睦	7	6	6	7	10	9	9	9	9	9	8	7	96
高津緑が丘	6	5	5	5	6	6	5	5	4	3	3	3	56
八千代台	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
村上	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	49
福山市	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
合計	18	16	17	19	22	21	20	20	19	18	17	16	223

予防委託数は安定している。全体件数調整により 22 件を上限として調整した。

平成 26 年度事業報告

八千代市村上地域包括支援センター

1. 総合相談業務

地域包括支援センター業務マニュアルの基本的視点に基づき、地域の高齢者が住みなれた地域で、安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行うことを目的とし、活動いたしました。

新規相談受付数は年々増加し、八千代市調査による地域包括支援センター周知度も上昇していることから、窓口周知としては一定の効果を感じております。

センター内では、相談受付時に緊急レベルを精査することにより、他者への相談を通じた他面的視点での支援、継続対応の判断などに効果を感じることができ、確実なケース対応に繋がっていると考えております。また、本年度は、個別支援の経験やデータを地域支援に活用することも重要テーマとして取り上げており、より住民ニーズを把握するため、より細分化したデータ集計も実施いたしました。相談内容のデータや他機関から集約した情報を元に地域へ啓発を行なうことにより、身近で、ごく最近に起こっている出来事として捉えられ、地域住民へ問題意識を持っていただくことが出来たと考えています。

①相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	276	1957	
	来所	138	223	
	訪問	4	299	
	その他(FAX・メール)	1	46	
	合計	419	2525	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	5	7
		成年後見制度に関する相談	9	52
	介護	介護に関する相談	140	486
		介護保険制度に関する相談	130	362
		施設入所に関する相談	26	67
		福祉サービスに関する相談	37	153
		ケースに関する相談	28	305
	ケアマネ支援	地域資源に関する相談	4	17
		ケアプラン作成に係る個別支援	6	102
		その他	11	85
		経済的相談	32	218
		介護予防事業に関する相談	4	17
		健康に関する相談	83	739
		その他	116	711
		小計	631	3321
	上記のうち、認知症に関する相談	60	394	
相談者	本人	103	892	
	家族	150	535	
	成年後見人	1	6	
	民生委員	21	90	
	近隣住民・知人	16	23	
	商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)	11	66	
	住宅の管理者・大家・管理会社	5	23	
	主任介護支援専門員	12	166	
	介護支援専門員	30	313	
	介護保険サービス事業者	8	87	
	医療関係者	30	134	
	行政機関	20	167	
	警察	12	18	
	消防	0	0	
	その他	0	5	
	合計	419	2525	

※受付件数は26年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

②個別ケースに係る地域ケア会議開催実績

開催状況	開催件数	49
	内容(重複可)	
	独居高齢者世帯に関するもの	38
	高齢者世帯に関するもの	5
	認知症高齢者の支援に関するもの	7
	介護支援専門員支援に関するもの	8
その他	5	

③新規相談と地域ケア会議における内容種別(細分化)

項目	新規相談	地域ケア会議の議題	
状況確認	安否確認	6	
	その他	6	
移動	室内	5	
	室外(身体的理由による)	9	
	室外(公共交通機関が無い)	2	
	通院	6	
	院内	4	
	その他	0	
地域活動	自治会の当番	0	
	ゴミ当番	0	
	回覧板	0	
	近隣トラブル	2	
	サークル活動のニーズ	0	
	ボランティア活動のニーズ	0	
	その他	2	
	預貯金の出し入れ	12	
金銭・書類管理	公共料金の支払い手続き	9	
	書類の説明・記入	9	
	料金の滞納	10	
	その他	4	
	受診立会い	3	
健康管理・身体衛生	薬の受け取り	1	
	服薬管理	7	
	薬の塗布・貼付	1	
	清潔保持	2	
	その他	6	
	食事	16	
介護	入浴	8	
	排泄	2	
	移乗	1	
	認知症	8	
	その他	1	
	介護保険対応可能なもの	6	
	ペットの世話	0	
家事	庭の手入れ	0	
	ゴミ出し	1	
	ゴミ出し(粗大ゴミ)	0	
	ゴミ屋敷化	1	
	電球の交換	0	
	布団干し	1	
	掃除	5	
	調理	10	
	洗濯	5	
	買物	10	
	同居家族がいる際のヘルパー派遣希望	3	
	その他	1	
	合計	647	185

2. 権利擁護業務

高齢者虐待防止においては、虐待通報も増えている一方、昨年度は5件の虐待対応終結を迎えることができました。マニュアルに沿い実行し、会議開催などで多面的な視点を獲得対応したことも一因と考えられます。また、多くの機関や資源に支援協力を依頼したことにより、介入の助けになったこともありました。今年度も他機関や資源と協力して虐待の解消を図っていくことが重要と考えます。認知症の高齢者が虐待を受ける割合が高いことから、今年度は認知症の理解・対応に絡めて、高齢者虐待防止について普及啓発を行う事に力を入れました。

消費被害については、窓口での掲示、地域での普及啓発を積極的に実施いたしました。結果として、消費被害や成年後見相談件数は増加したため、普及啓発活動効果が現れていると考えられます。

①取り組み

月日	実施主体	事項	包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議
26年4月～27年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:8回、村上東:10回)	○	○		○	
26年4月～27年3月	上高野原支会	定例会(9回)	○	○		○	
26年4月～27年3月	村上支会	定例会(6回)	○	○		○	
26年 6月 11月	村上地域包括支援センター	村上包括誌(20版・21版)の発刊・配布	○	○		○	
9月12日	みどり婦人会	認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	
11月10日	ふれあいサロン村上	定例会にて、認知症に関する講義。	○	○			
11月6日 1月20日	千葉興業銀行 村上支店	認知症サポーター養成講座(金融機関向け)	○	○	○	○	
11月11日 11月13日	千葉興業銀行 勝田台支店	認知症サポーター養成講座(金融機関向け)	○	○	○	○	
12月7日	スマイルデイズ	認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	
2月28日	上高野原支会	認知症サポーター養成講座	○	○	○		

②高齢者虐待防止法に基づく新規通報数・対応数

高齢者虐待対応	新規通報件数	対応延べ件数
	7	204
	上記のうち前年度以前通報ケースの対応件数	112

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域支援ネットワークの構築・強化

地域における包括的・継続的ケアを実践し、地域支援ネットワークの構築・強化を図るため、下記の取り組みを行ないました。独自で発刊している広報誌もツールとし、積極的なアプローチを行いました。

月日	実施主体	事項	目的(該当の項目に○を付けてください)						参加人数・効果
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議	その他(内容記入)	
26年4月～27年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:8回、村上東:10回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。ニーズ発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。
26年4月～27年3月	上高野原支会	定例会(9回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行っている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。
26年4月～27年3月	村上支会	定例会(6回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行っている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。
5月17日	上高野原支会	地域懇談会	○			○	○	自治会長との関係作り、地域連携体制の構築。	自治会長に対し、センター周知が行えた。防災の講義を通し、各自治会が感じていた課題についても把握する事ができた。
5月23日 7月18日 9月19日 11月21日	グループホーム美乃里	運営推進会議の出席					○	施設の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	グループホームの活動内容や取り組み、現状を把握した。
26年 6月 11月	村上地域包括支援センター	村上包括誌(20版・21版)の発行・配布	○	○		○		センター機能、取り組みの周知。	主に地域包括支援センターの活動報告を掲載、相談者、各機関や地域団体、介護保険事業所等に配付、周知・情報発信機能等の効果を感じている。1次予防事業申し込みにも繋がった。
6月2日	けやきの会 (元気伝え隊自主グループ)	定例の体操教室にて、センター業務の説明、周知を行う。	○			○		村上包括紙、センター機能についての説明。	27名参加 センターの業務内容について関心を頂き、今後、センター機能について講義する予定となる。
6月23日	村上地域包括支援センター	けやきの会にて、センター機能、介護保険制度の講義	○			○		介護保険・八千代市高齢者施策・地域包括支援センターに関する講義。	参加者21名。参加後、「制度や包括の事が理解できた」という旨の感想が多く聞かれ、周知効果があったことを実感した。
6月26日	村上中学校	村上中学校福祉教育にて、認知症についての講義	○					認知症の方の住みやすい地域づくり。 若い世代への福祉教育。	中学校1年生、4クラスを対象に実施。 認知症の方の気持ちや対応などが、理解できた、実践したいなどの感想が頂けた。
6月29日	村上支会	ミニサロンへの参加	○			○		健康体操や血圧測定を通し、地域住民への健康意識の向上を図る。	15名程の参加。健康体操を実施し、希望者の血圧測定を行う事で、健康の大切さを伝えた。個人と向き合い、センター機能の周知も行えた。
7月12日	村上支会	地域懇談会への出席	○			○	○	自治会長との関係作り、地域連携体制の構築。	自治会長6名に対し、センター機能の周知を実施。理解が得られ、関係作りとしても貴重な機会となった。
7月18日	メンタルヘルスネットワーク	メンタルヘルスネットワーク定例会議への参加				○		病院とのネットワーク構築、支援体制の強化。	会議出席を通し、病院ソーシャルワーカーとの連絡がスムーズに行えて、支援体制の強化にもつながっている。
7月26日、27日	村上団地商店街	村上団地夏祭り(暑中見舞いコーナーの設置)	○					「暑中見舞い」を通しての、祖父母や家族間の交流の促進、センター機能の周知	児童21名、大人1名参加。 児童やその親など、日頃、アプローチが難しい若い世代へ向けてセンターの周知が行えた。
7月	ふれあいサロン村上	定例会へ出席	○					広報紙配布	30名程度。定期的に周知する事で、センターの周知度が上がり、スタッフの方や参加者から相談がきやすい関係作りが行えた。
7月 12月	村上中央支会	転倒予防教室へ参加	○					広報紙配布 消費者被害の注意喚起	20名。参加者の大多数の方が、センターを知って頂いていた。また、地区の福祉委員と相談しやすい関係作りを行うことが出来た。
7月25日 10月10日 2月12日	小規模多機能ホーム アゼリアガーデン	運営推進会議の出席					○	事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	事業所の年間計画や活動内容、取り組み、現状を把握した。
9月8日	ふれあいサロン村上	10周年式典への出席	○			○		地域連携体制の構築。	センターの周知度も高く、スタッフの方や参加者から相談がきやすい関係作りが行えていると実感する。
9月10日	村上中央支会	転倒予防教室への参加	○					健康体操を通し、地域住民への健康意識の向上を図る。	参加者20名程に対し、健康体操を通して、運動への意識向上を行うことが出来た。また、センター機能について、周知が出来た。

9月12日	みどり婦人会	認知症サポーター養成講座	○	○	○	○		19名参加。認知症の症状、治療、グループワークを通し、認知症高齢者を地域で支える理解を得た。虐待防止に関する啓発も行った。
10月12日	村上中央支会	世代間交流会への参加	○			○	やちよ元気体操を通し、地域住民への健康意識の向上を図る。	参加者数約200名。毎年、PRを行っているが、センターについて知っていた方が増えている。
11月10日	ふれあいサロン村上	定例会にて、認知症に関する講義。	○	○			認知症に関する知識や対応について学び、予防意識の向上、地域でのサポート体制をつくる。	参加者30名程度に実施。サロン参加者の高齢化に伴い、参加者自らの意識向上を行い、世話人の方達に対応方法などを改めて啓発する事が出来た。
11月5日	興寿会	秋の定例会にて、介護保険制度の説明と施設について講演	○				介護保険制度や高齢者施設など、公的制度や地域資源について周知する。	参加者20名程度。介護保険制度の仕組みや施設についての説明を行う中で、地域での支え合いが大切であることを皆で共有する事が出来た。包括周知を行う事が出来た。
11月9日	上高野原支会	世代間交流会への参加	○			○		子供から高齢者まで20名程の参加者に対し、センター機能の周知を行い、理解が得られたと実感した。
11月6日 1月20日	千葉興業銀行 村上支店	認知症サポーター養成講座 (金融機関向け)	○	○	○	○		受講者合計11名。認知症の症状、治療、グループワークを通し、認知症高齢者を地域で支える理解を得た。虐待防止に関する啓発も行った。
11月11日 11月13日	千葉興業銀行 勝田台支店	認知症サポーター養成講座 (金融機関向け)	○	○	○	○		受講者合計11名。認知症の症状、治療、グループワークを通し、認知症高齢者を地域で支える理解を得た。虐待防止に関する啓発も行った。
12月7日	スマイルデイズ	認知症サポーター養成講座	○	○	○	○		参加者11名。認知症の症状、治療、グループワークを通し、認知症高齢者を地域で支える理解を得た。虐待防止に関する啓発も行った。
12月8日	けやきの会 (元気伝え隊自主グループ)	定例の体操教室にて、センター業務の説明、周知を行う。	○				広報紙の配布 消費者被害防止についての普及・啓発。	28名参加。詐欺被害については、件数や事例など具体的に伝えた事で、参加者の警戒意識が向上したことを実感した。
12月10日	村上公民館	いきいき教室にて、介護保険制度の説明と施設について講演	○				介護保険制度や高齢者施設など、公的制度や地域資源について周知する。	市内在住のいきいき教室参加者へ講演。介護保険制度について理解を得る事が出来、相談窓口の周知につながった。
12月23日	村上団地商店街	もちつき会への参加	○					支会や商店街の方達と一緒に行動することで関係性強化につながった。また来場した方へ包括を周知することが出来た。
2月13日	村上中央支会	転倒予防教室	○				簡単な体操・高齢者の相談	福祉委員10名・高齢者1名。支会で関わっている方で困っている方などの相談にのれた。
2月28日	上高野原支会	認知症サポーター養成講座	○	○	○		認知症について (疾患・棲し方予防・地域で暮らしていくこと)	福祉委員11名・高齢者10名参加。認知症の方への対応を話し合い、発表を設けた。実際にどう対応するか、具体的な方法などに興味を示し、話し合うことが出来た。
3月11日	村上中央支会	転倒予防教室	○			○	ストレッチとリズム体操	福祉委員6名 高齢者6名参加。介護予防の意識が高い発言が多く聞かれた。福祉委員と、高齢者への対応について、一緒に考え話し合う機会となった。

②介護予防支援専門員等に対する個別支援

介護支援専門員に対し、ケースに対する相談に応じ、必要に応じての情報提供、ケアプランの作成助言、協働によるケース支援を行いました。ケアマネジャーからの相談件数は、総合相談実績に記載してあるとおりです。市内地域包括支援センター共催で研修会も実施しました。

実施種別	実施の有無	
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無
介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		
9月17日 八千代市6地域包括共催事例検討会 10月31日 八千代市6地域包括共催成年後見勉強会 11月14日 やちよケアマネ・ネットワーク研修会講師役(八千代市6地域包括共同) 3月11日 八千代市6地域包括共催事例検討会		

4. 一次予防事業（いきいき教室の開催）

圏域内一次予防事業対象者に対し、いきいき教室を3教室（計12回）開催いたしました。内容、参加者数は下表のとおりとなります。

今年度は、新規参加者の増加、参加者へのフォロー体制の構築を意識して取り組みました。広報・周知活動の工夫と、教室を3コース制にすることにより、達成することが出来たと感じています。また、開催にあたっては、地域の既存団体にも協力していただくことができ、地域との連携や活躍の場としての提供も行え、良い効果があったと実感しています。

第1回教室

テーマ：運動機能の向上と健康について知識啓発（認知症予防・栄養改善・口腔ケア）			
日時	主な内容	場所	参加者数
6月26日	運動の必要性 関節痛のある方の出来る運動	村上安心安全福祉センター	11名
7月3日	棒体操 口腔機能	村上安心安全福祉センター	11名
7月10日	棒体操 栄養改善	村上安心安全福祉センター	11名
7月17日	楽しみながら行える運動 認知症予防	村上安心安全福祉センター	11名
7月24日	運動の継続、健康維持のための振り返り	村上安心安全福祉センター	10名

第2回教室

テーマ：運動機能の向上と健康について知識啓発（認知症予防・栄養改善・口腔ケア）			
日時	主な内容	場所	参加者数
10月1日	運動の必要性 関節痛のある方の出来る運動	興和台クラブ21	17名
10月8日	棒体操 口腔機能	興和台クラブ21	15名
10月15日	棒体操 栄養改善	興和台クラブ21	12名
10月22日	楽しみながら行える運動 認知症予防	興和台クラブ21	11名
10月29日	運動の継続、健康維持のための振り返り	興和台クラブ21	14名

第3回教室

テーマ：運動機能向上			
日時	主な内容	場所	参加者数
2月6日	ロコモティブシンドロームを学ぶ 歩行能力測定	興和台クラブ21	26名
3月20日	膝痛、腰痛について学ぶ 運動効果の測定	興和台クラブ21	19名

5. 介護予防ケアマネジメント事業

把握された対象者についてのアプローチとアセスメント、実施後の評価を行いました。対象者数、プログラム実施者数、対応実績は下表の通りです。

事業参加を問わず、アプローチ時に継続支援が必要と感じた対象者については、一次予防事業とも連動した呼びかけや、体調、状況確認などの把握を実施いたしました。

①対象者数（※平成26年度対象者数）

対象者数	245
------	-----

②プログラム実施者数（※平成26年3月31日時点：一部に平成25年度対象者含む。）

実施者数	23	ケアプラン作成あり	0
		ケアプラン作成なし	23

③対応実績（※平成26年3月31日時点：一部に平成25年度対象者含む。）

	件数
訪問	18
来所	32
電話	423
合計	473

6. 二次予防事業（訪問型介護予防事業）

八千代市から提供されるリストによる対象者18名に対しアプローチした結果、本人によるチェックリスト記載誤りが15件、介護保険認定済みが1件、入院中が1件、連絡の取れないケースが1件となりました。

記載誤りであった15件のうち、訪問に繋がったケースは4件で、そのすべてが通所型介護予防事業への参加に繋がりました。連絡が取れないケースについては、対応を検討し、適切なアプローチができるよう試みます。

7. 介護予防支援

利用者の状態に合わせ、利用者や家族の意向を含め介護予防支援計画書の作成を行いました。計画作成後、ご利用者、サービス提供事業者等から情報収集し、評価を実施すると共に、毎月モニタリングを行い、内容の変更などには随時対応しております。

包括3職種職員の介護予防支援ケース数の制限についても遵守しております。また、センター独自で、自己チェック表を作成し、定期的な進捗管理や不備の防止に努めています。

①介護予防支援実績（月遅れ分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約総数	157	152	151	155	153	147	156	162	165	165	163	158	1,884
国保連請求数	147	143	142	145	145	140	149	150	150	147	153	143	1,754
内 包括分	106	100	100	101	100	97	99	99	101	95	98	91	1,187
内 委託分	41	43	42	44	45	43	50	51	49	51	55	52	566
内 初回分(請求数に含まれる)	7	3	4	8	9	5	10	6	7	2	6	2	69
内 包括分	4	3	2	3	5	4	3	3	5	1	1	2	36
内 委託分	3	0	2	5	4	1	7	3	2	1	5	-	33

②介護予防支援実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援計画作成数

新規	再作成	合計
32	111	143

b. 訪問対応件数

実数	延数
122	699

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3988
	ケース以外の内容	163
	住宅改修のみ	21
来所	ケースに関連する内容	198
	ケース以外の内容	70

8. 法人他部署との連携強化

毎月の会議や定期連絡などにより、法人本部との情報交換・共有を密にし、業務理解を得ることで、緊急一時保護受け入れなどのバックアップ体制が築けています。地域包括支援センター運営業務を行うにあたり大きな助けとなっています。

グループホームなごみ・小規模多機能居宅介護なごみについては、八千代市にできた社会資源の一つとして、地域住民が有効活用できるよう、他圏域地域包括支援センターなど関係機関に周知・情報提供を行いました。

9. 災害時の対応強化

地域包括支援センターで把握している高齢者のリストを整備しました。今後は、更新を確実にを行い、災害時でも情報が使用、共有できるように備えていきます。

また、被災時の備えとして、職員が救援に回ることが出来るよう、職員分の食料や防災グッズを備蓄いたしました。

10. 人材育成

センターでは、平成25年度、26年度と、他職種配置という強みを最大限に活かしケース支援・問題解決にあたるため、朝礼や会議を通して、共有や協働に力を入れてきました。その結果により、共有や相談、必要に応じた同行訪問などが行いやすい環境や意識が根付き、確実なケース支援対応に結びついていると実感しております。

個別的にも、地域包括支援センター職種別会議や外部研修の積極的な参加を奨励し、専門性の向上に努めました。なお、情報の共有のため研修報告書や会議録の回覧をしております。

研修・会議参加一覧

日にち	研修名	参加者
5月31日	八千代緩和医療勉強会	保健師
6月26日	平成26年 高齢者虐待防止対策研修会	介護支援専門員
8月1日	千葉県認知症対策推進セミナー	保健師
8月7日、21日、28日	千葉県高齢者虐待防止対策現任者研修	看護師
11月1日、3日、28日	平成26年度千葉県介護支援専門員研修事業 更新研修後期	看護師
9月11日、17日 10月15日、24日 11月11日	千葉県認知症コーディネーター養成研修	社会福祉士
11月18日	平成26年度 千葉県居宅介護支援専門員現任研修	主任介護支援専門員
11月25日	地域ケア会議等活動支援事業ブロック会議	主任介護支援専門員
1月15日	千葉県高齢者虐待防止対策研修(専門研修)	社会福祉士
1月23日	平成26年度成年後見制度推進セミナー	介護支援専門員
1月28日	平成26年度千葉県キャラバンメイト養成研修	看護師
2月5日	千葉県高齢者虐待防止対策現任者研修	保健師
2月26日	介護保険制度等改定に伴う研修会	保健師
3月19日	介護保険制度改正と介護報酬改定	看護師
3月20日	制度改正を前に、ケアマネジャーとして押さえておくべきポイント	介護支援専門員
日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者・主任介護支援専門員会議	センター長 主任介護支援専門員
毎月1回	八千代市地域包括支援センター社会福祉士会議	社会福祉士
毎月1回	八千代市地域包括支援センター看護職会議	保健師・看護師
1月27日	八千代市高齢者虐待防止地域連絡会代表者会議	社会福祉士
7月17日 10月9日	八千代市地域ケア会議(地域包括支援センター運営協議会)	センター長
5月23日 7月18日 9月19日 11月21日 3月20日	グループホーム美乃里運営推進会議	センター長 (代理出席あり)
7月25日 10月10日 2月12日	小規模多機能ホームアゼリアガーデン運営推進会議	センター長 (代理出席あり)
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員
毎月1回	村上地域包括支援センターケース会議	全職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。